

令和四年度 九州歯科大学歯学部 大学院入学式

式辞

本日、希望に満ちあふれる新入生の皆さんを九州歯科大学に迎えることができ、この上もない喜びを感じております。歯学部歯学科、口腔保健学科及び大学院歯学研究科に入学する皆さんに九州歯科大学の教職員を代表して、ようこそ九州歯科大学へという歓迎の言葉を贈ります。

本日、ここに、服部誠太郎福岡県知事及び秋田章二福岡県議会議長のご出席を賜りましたことに対し厚く御礼申し上げます。一方、本来であれば、各界からのご来賓ならびに保護者のご臨席を賜る予定でしたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の現況を鑑み、来賓各位ならびに保護者の皆様には、ご臨席の案内を控えさせていただきました。COVID-19 禍中、我が国において定着した「新たな生活様式」のもとでの「密閉、密集、密接」、いわゆる3密回避に重きをおいた対応ということでご理解いただければ幸いです。

九州歯科大学は、我が国にある 29 の歯科部を有する大学の中で、唯一の公立大学として、108 年という長い歴史と伝統、ならびに輝かしい実績を持って、歯学教育及び歯科医療の発展に貢献してきました。

九州歯科大学は、平成 18 年に公立大学法人として新たな道を歩み始め、その後、大学改革を進めていくなかで、平成 27 年度に九州歯科大学憲章を制定し、次世代を担う歯科医療人の育成に向けて、これまでの 3 つの基本理念に加え、6 つの教育研究目標を掲げ、実践的な歯科医療人の育成に力を注いできました。この憲章の前文には、「平成 26 年の創立百周年を機に、九州歯科大学は次なる世紀に向けて患者中心の歯科医療が提供できる人材の育成を第一義に掲げ、学生、教員、職員の 3 者が一体となって、理念の共有と目標の実現を目指します」と謳いあげています。

このような環境のもとで教育を受け、君たちが、患者本位の診療が行える実践的な歯科医療人として社会に巣立つことができるよう教職員一丸となって取り組むことをここであらためて約束します。

その一方で、教職員を代表して、学部及び大学院の新入生諸君

に対して、我々の期待に応えるべく、日々の学修、研究に精進することを強く求めます。あわせて、今後、歯科医療に求められる全身の健康増進に寄与するという視点に立ち、歯科医師・歯科衛生士によるオーラルヘルスチーム活動の担い手として社会で貢献することを願っています。

さて、平成 18 年 12 月に交付された教育基本法のもと、我が国の初等・中等教育においては、時代に即した学力を有する人材を育てることが求められ、それに準じて学習指導要領の改訂が進められてきました。その過程で、現在の教育における学力の 3 要素及びそれを総合するものとして「生きる力」が規定されています。

学力の 3 要素それぞれについては、要素 1 としては、「社会の中で生活し働くための【知能・技能】」。要素 2 としては、「知識・技能の上に築かれる【思考力・判断力・表現力】」、要素 3 としては、これら 2 つの土台の上に成り立つ「学びを人生や社会に生かそうとする【主体性・多様性・協調性】」、という形で、とりまとめられています。

このようなことを踏まえて、本日、歯学部に入學する新入生の皆さんにお願いです。諸君は、本学のアドミッションポリシーを十分

に理解し、将来歯科医療人として社会に貢献するという強い意志と高い志を持って、本学に入学したと信じています。これから先、九州歯科大学における大学生活において、本当の意味でのプロフェッションとして社会に貢献するという強い意志を持ち続け、主体的に日々の学修に励んでいただきたいと思っています。

しかしながら、これまでの初等・中等教育とは異なり、大学での高等教育では、初めて出会う学問に戸惑うことも多いかと思います。さらに、2年を超える COVID-19 禍中、対面授業に代わり、オンライン授業が数多く導入されています。そのようななかであっても、君たちは、学力の 3 要素を歯科医学に応用して、将来を切り開くという気概をもって、夢と希望を失うことなく、社会に貢献する歯科医療人を目指してください。その過程で、不安なことがあれば、遠慮せず教職員に相談し、コーチングを受けてください。

次に、大学院に入学する学生諸君に申し上げます。どのような学問領域であっても、それを支えているのは研究です。今後、歯学研究科における大学院生として、修士課程及び博士課程で研究生を送ることになりますが、その際、「無知は罪悪である。その無知な状態から少しでも逃れて、物事を理解しよう、自然や社会に関連する

科学、周囲の人や自分自身を理解しようということが知性なのだ」という言葉をしっかりと胸に刻み込んで、歯科医学に貢献する研究者として、生命科学における高度の研究能力ならびにその礎となるオーラルバイオサイエンスに関する豊かな学識を養ってください。

一方で、本学は、福岡県が推進しているワンヘルス推進活動やふくおか健康づくり県民運動に呼応した活動を展開しています。そこで学んだ君たちは、大学院修了時には、優秀な臨床医として、あるいはそれを支える研究者として、医学分野の医療人とともに多職種連携という形で活躍することを強く願っています。

現在、医療の世界では、医科と歯科が連携して、疾病の重症化予防を通して地域住民の健康長寿の延伸を目指すということが求められます。すでに、本学は、複数の北九州市内の医科病院と教育連携協定を結び、そのもとで学部学生の臨地実習を展開しています。このような地域に根差した医科歯科連携教育は、まさに、厚生労働省が推進する「地域包括ケアシステム」の構築に呼応するものです。二一世紀の歯科医学を背負う学生諸君には、先駆け的な教育を展開

する本学で歯学教育を受け、歯科医療界のフロントランナーとして、public dentist、public dental hygienist として、多面的に活躍することを切に願っています。

むすびに、明日から大学で、夢と希望をもって、学修及び研究生活を送る新入生の皆さんに、著名な科学者アインシュタインの名言を紹介します。曰く、「挫折を経験した事がない者は、何も新しい事に挑戦したことが無いということだ。」。さらに、本日、この言葉とともに、私から入学生諸君に、「宿命に挑み、使命を果たし、夢を繋ぐ」という言葉を贈り、学問に対して常に真摯に、そして、生涯学習を通じて社会に貢献する人材となるまで、夢に向かって前向に取り組むことを心から念願して、私の式辞とします。

令和4年4月5日

九州歯科大学

学長 西原 達次